

新型コロナウイルス感染症対策に関する重点要望

新型コロナウイルス感染症については、オミクロン株の急速な拡大により全国で感染者数が増加しており、本県においても新規陽性者数が急増していることから、感染の再拡大を受けて、県民の不安が高まっている。

また、持ち直しの動きが見られていた我が国の景気が、感染再拡大の影響により厳しい状況に置かれ、時短要請等による社会経済活動の停滞が長期化することが懸念されている。

さらには、感染拡大により、医療崩壊を防ぐことが最優先であるが、産業活動や県民生活の下支えも求められる。

そこで、我が党の「令和4年度当初予算編成に関する要望」においては、新型コロナウイルス感染症対策に関し、下記事項に重点的に取り組まれるよう強く要望する。

記

1 検査・医療体制の整備

地域の診療・検査医療機関の協力を得つつ、PCR検査の拡充や病床・宿泊療養施設の確保を図ることはもとより、医療機関における施設・設備の整備、医療人材の確保に向け、万全を期すこと。

2 ワクチン接種の促進

ワクチン接種が着実かつ円滑に行われるよう、県として広域的・専門的な見地からの責務を果たしつつ、実施主体である市町村等と連携し、後手とならないように真摯かつ丁寧に対応した上で、ワクチンを十分に確保し各医療機関等へ迅速に供給するなど、接種体制の充実を図ること。

なお、3回目接種については、接種券なしの前倒し接種が実施されるにあたり、各医療機関等の負担の増大が懸念されることから、十分な調整を図った上で接種を進めること。

3 地域経済の下支えと雇用の維持

飲食店に関わる事業者に対する応援金だけでなく、サービス業や一次産業など厳しい状況にある地域経済の下支えを図るとともに、現下の雇用情勢に対応するため、失業を余儀なくされた者に対する再就職に向けた支援等を行うこと。

なお、飲食店に対し協力金を支給する場合は、「ニューあいちスタンダード」の認証店と非認証店に対し、それぞれ適切な支給を行うこと。